

科目名 (科目番号)	臨床心理学 (時間割参照)	教員名 山本哲也	学科等	理学療法	選択	履修年次	1
	曜日・時限等		時間割表参照		単位数	1	
	授業形態		講義	オフィスアワー	第1キャンパス		
授業概要	臨床心理学は、心理学の諸領域における知見を、心理的援助を必要としている人とその関係者に援用する実践活動である。本講では、心理的援助を必要とする人が抱える「こころの問題」に対する心理学的な考え方、そうした問題を抱える人々を理解する方法、援助のための基礎的な理論などについて学ぶ。						
目的・目標	目的:臨床心理学にかかわる臨床心理学の知見、心理アセスメントの基本と具体的な方法、臨床心理学の介入方法を説明できる。 目標:「こころの問題」を抱える人々を理解し、援助するための知識を修得する。						
準備学習	毎回の授業の到達目標と学習内容を十分に理解しておくこと。						
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容				
	1	臨床心理学とは何か	到達目標:臨床心理学の成り立ちや社会における役割、PTとの関連について理解する。 学習内容:臨床心理学の基本(定義、歴史等)について概説する。				
	2	臨床心理支援の基本事項	到達目標:「こころの問題」を抱える人々を理解する上での基本事項を理解する。 学習内容:共感・傾聴等の臨床心理支援の基本事項、および防衛機制、障害受容等の臨床心理支援に役立つ諸理論について概説する。				
	3	心理アセスメント①	到達目標:心理アセスメントの基本について理解する。 学習内容:心理アセスメントの目的、ケース・フォーミュレーションを概説する。				
	4	心理アセスメント②	到達目標:アセスメントに使用される心理検査の特徴について理解する。 学習内容:人格検査、知能検査、発達検査、認知機能検査について概説する。				
	5	心理アセスメント③					
	6	臨床心理学の介入技法①	到達目標:臨床心理学における行動的介入技法について理解する。 学習内容:行動療法、認知行動療法等について概説する。				
	7	臨床心理学の介入技法②	到達目標:臨床心理学における内面的介入技法について理解する。 学習内容:精神分析療法、内観療法、絵画療法、箱庭療法等について概説する。				
	8	臨床心理学の介入技法③	到達目標:臨床心理学における相談的介入技法について理解する。 学習内容:来談者中心療法、支持的精神療法・森田療法等について概説する。				
成績評価の方法・基準	期末試験(100%)によって評価します(対面・オンライン共通)。						
教科書	リハベージック 心理学・臨床心理学 第2版		内山靖・藤井浩美・立石雅子 編		医歯薬出版		
参考図書	授業の中で適宜紹介します						
教員からのメッセージ	必須ではありませんが、基礎科目の心理学を受講することを推奨します。大学で障害学生支援担当として勤務した公認心理師がこの授業を担当します。必要に応じて授業の内容を変更することがあります。オンライン授業に伴い授業計画に変更がある場合は、オンラインクラスで変更のシラバスを周知いたします。						